



9月1日「防災の日」にちなんで

日本は、地震や津波・台風・豪雨など、自然災害が少なくありません。そのため、災害に対する認識を深めることを目的に「防災の日」が制定されました。毎年9月1日が防災の日ですが、なぜ9月1日になったのでしょうか。それは、1923年9月1日に発生し大災害をもたらした『関東大震災』に由来しています。関東大震災はマグニチュード7.9と推定され、首都圏を襲った巨大地震です。死者10万人以上、家屋の被害はおよそ30万軒におよび、電気や水道、鉄道・道路にも甚大な被害が発生しました。

「防災の日」は、災害に対する認識を深めることを目的に制定されたのです。

今年は、お盆をはさんで長雨・豪雨があり、各地で大きな被害が出ました。ご家庭の備えは十分ですか？図書館にも防災関連の本や資料がたくさんありますので、どうぞご活用ください。今月の児童書の特設コーナーのテーマは「防災」です。その中から1冊紹介します。



ドラえもん探究ワールド～自然の脅威と防災～ 発行：小学館

今後、集中豪雨が増えてくるって本当？昔の人は災害をどう乗り越えてきたの？地震がきたら、どうすればいい？自然災害のメカニズムと防災に関する知識をドラえもんのマンガとともにわかりやすく解説する本です。

【開館時間】 10時から18時まで（金曜日と同様です）

【9月の休館日】 13日（月）まで緊急事態宣言を受けて臨時休館、21日（火）、29日（水）

※休館日やサービスの変更など、詳しくは、図書館ホームページでご確認ください。

特設コーナー

図書館職員が、4つの場所で毎月テーマを決め図書を集めています。ぜひご覧ください。

9月の特設コーナー ①
(カウンター前大きな円形テーブル)

特設のテーマ: 9割本特集



「〇〇の9割は△△」と言う時、9割は算数で習った90%という意味とはちょっと違います。この場合の9割は、「ほぼ」「大部分」「大半」といった意味になります。コーナーに「9割」が書名についている本を集めてみました。「成功の9割は～」「病気の9割は～」「伸びる子の9割は～」「日本人の9割は～」など、びっくりするほどたくさんの本が見つかりました。読んだ人の9割が満足すること間違いなしです。

9月の特設コーナー ②
(雑誌コーナー横テーブル)

特設のテーマ：敬老の日 読書のすすめ



公益社団法人読書推進運動協議会は、毎年、中高年の方々に読書を楽しんでいただくために「敬老の日読書のすすめ」運動を行っています。豊かな時間を過ごすヒントや生活に必要な知識、次の世代に伝えたいものなど、様々なジャンルの本を集めました。「読書」は知識を豊かにするだけでなく、脳を活性化させる働きがあることが分かっています。いいことだらけですね。さあ、どれから読みますか？

9月の特設コーナー ③
(文庫本コーナー付近の柱のウラ)

特設のテーマ：芸術の秋 読書でアート



秋は植物が紅葉を始め、野山が美しく彩られます。また、街角で小さな美術展が見られたり、二科展や日展など大きな展覧会が開催されたりする季節です。このようなことから「芸術の秋」といわれるようになりました。

コーナーには、画家、芸術家を取り上げた小説や展覧会を舞台にした小説などを集めました。美術全集はありません。この秋は、読書で芸術の秋をお楽しみください。

ここからは児童書（絵本）の特設コーナーです。

9月の特設コーナー ④
(おはなしのへや前のテーブル)

特設のテーマ：防災について考えよう



2011年3月に東日本大震災が発生し、多数の学校、児童生徒等に甚大な被害が生じました。あれから10年。毎年のように各地で地震や台風、豪雨による災害が報道されています。

防災は、大人だけのものではありません。子供でも災害から身を守る力を身につけておく必要があります。ご家庭では災害に備えてどんな準備をされていますか？一緒に勉強しましょう。